

蚕糸振興計画（案）に対する県民広聴制度による意見への回答

No.	意見（概要）	回答
1	<p>蚕糸振興施策における取組方向5「蚕糸業を支える試験研究」に関する取組について、下記のとおり意見・提案いたします。</p> <p>①稚蚕人工飼料「くわのはな」の販売減を踏まえ、1～3齢を一本化した低コスト飼料の開発が必要。桑粉末増量を軸に統合型飼料を検討し、さらなる低コスト化と省力飼育の確立を図りつつ、全齢人工飼料育の研究継続が求められる。</p> <p>②人工飼料研究室の取り壊しが進む中、施設内に小規模でも新たな研究室を設置し、人工飼料研究を継続できる体制を確保すべきである。</p> <p>③現在、農福連携の一環として蚕の飼育が行われているが、今後さらに連携を拡大して欲しい。</p>	<p>貴重な御意見を賜り、誠にありがとうございました。頂戴した内容は、本段階では本文の修正には至りませんが、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> <p>①稚蚕人工飼料の低コスト化や全齢人工飼料育の実現は重要な課題であり、引き続き研究や検討を進めてまいります。</p> <p>②新たな施設の建設に伴い、工事期間中は既存の他施設を活用することで、研究を継続できる体制を確保します。</p> <p>③農福連携を含めた多様な参入促進策を講じ、新規参入者の確保に向けた取組を一層強化してまいります。</p>